

第2学年 国語科学習指導案

1 単元 読んで作ってね！わたしのおもちゃの作り方

ーじゅんじょを考えて、分かりやすいせつめい書を書こうー

【教材名】しかけカードの作り方, おもちゃの作り方 【文種】説明文

2 単元設定の理由

○ 児童の興味・関心の実態

本学級の児童は、生活科の学習でおもちゃランドに1年生を招待し、喜んでもらえた経験からおもちゃ作りに対する興味・感心が高まっている。さらに、1年生から「つくってみたい！」という声が上がったため、自分で作ったおもちゃの作り方を1年生に教えたいという意欲をもっている。また、「書くこと」に関しては、野菜の観察を継続的に行う中で気付いたことを観察記録文に書いたり、運動会等の学校行事のふり返りを書いたりする活動を通して、経験したりかんさつしたりして生まれた自分の思いを文章に書くことに関心をもっている。

上記の点から、子どもたちは、価値ある体験の中に、文章に表したいという必要感を見いだすとともに、分かりやすく伝えることへの関心を高めると言える。

○ 児童の能力の実態

「書くこと」については、単元「ていねいにかんさつして、きろくしよう」において、生活科の学習で自分が育てた野菜の様子を、大きさや形、色、手ざわり等の視点で観察し、自分の気付きが伝わるように観察記録文を書く学習を行った。また、単元「くみ立てを考えて書き、しらせよう」において、取材メモとサンプル文を基に、「はじめ・中・おわり」の構成に気を付けて紹介文を書く学習を行った。このような学習を通して、児童は伝えたいことや自分の思いを進んで書く力が身に付きつつある。しかし、同じ内容や言葉を繰り返し書いたり、思いついたことをそのまま書いたりしている等、構成や内容のまとまりを考えて書くことについては、まだ不十分である。したがって、説明したいものに沿って、順序や言葉のまとまりに気を付けて説明する文章を書く力を身に付けさせることは、今後、子どもたちが自分で課題をもち、書くことを通して主体的に考えを深めることに役立つ、たいへん意義がある。

○ 単元・教材の価値

本単元は、第1・2学年「書くこと」の言語活動例ウ「身近な事物を簡単に説明する文章などを書くこと」を具体化した単元である。「しかけカードの作り方」と「おもちゃの作り方」の説明文を読み、おもちゃの作り方を文章の組立てや順序を考え、絵を用いながら、作る手順に沿って簡潔に書くことができるようにすることをねらいとしている。本単元では、読んだことを基に読み手が容易におもちゃを作ることができるような説明書を書き、おもちゃの作り方を1年生に教えたいという目的意識をもって活動できるようにする。相手に伝えるために必要な情報を収集することや、説明の順序、表現の仕方を考えて書く力を身に付ける上で非常に意義深い単元だと考える。



【学習課題】読むだけでおもちゃが作れるような『おもちゃの作り方説明書』を書こう。

3 単元の目標

国語への 関心・意欲・態度	○ 順序や具体的な表現を使って、分かりやすくおもちゃの作り方を説明しようとする。
書く能力	◎ 説明したいものに沿って、順序や言葉のまとまりに気を付けて文章を組み立てることができる。(イ) ○ 文章を読み返し、間違いなどを直すことができる。(エ)
読む能力	◎ 教材文を事柄の順序や説明の仕方について考えながら読むことができる。(イ)
言語についての 知識・理解・技能	○ まとまりを意識して順序を表す言葉を用いている。(ウ)

4 研究の着眼

《着眼1》文種に応じて、重点化する内容の書く活動を位置づけた学習展開の工夫

本単元で取り扱う文種は、説明文である。本単元では説明文を「相手が知りたいことや疑問に思うことについて情報や知識を分かりやすく伝える文章」とする。本単元の「書く」指導で重点化する表現過程は、「構成」である。そこで、下記の「書く活動」を設定する。

【構成の段階】

教材文「けん玉の作り方」の構成を想起させ、前書き（おもちゃの紹介）、材料・道具、作り方（作る順序）、遊び方の4つの組立てを構成することを押さえるようにする。作り方においては、まず児童が自力で組立てシートに付箋を並び替え、組立てを行うようにする。教師のおもちゃ作りのメモと不十分な組み立てシートのサンプルを提示し、全員で組立てシートにメモを並び替え、順序に気を付けて構成することを押さえるようにする。その中で、順序を分かりやすく書くためのつなぎ言葉（まず、つぎに、それから等）の言葉の働きを意識して使うことや、つなぎ言葉にそってまとまりに分けることを意識させるようにする。

《着眼2》自分の考えを深める、「吟味する活動」の設定

この単元では、おもちゃの作り方を正確に伝えるための順序に対する見方・考え方を深めることが、自分の考えを深めることになると考える。この見方・考え方を深めることができるように次の吟味する活動を設定する。

① 漠然とした自分の考えを明確にするための視点を見つける活動を行う。

自力で組み立てたときに働かせた、順序に対する見方・考え方を明確にすることができるように、前時までの児童の悩みに即して作成したサンプルを用いて、順序を表す言葉について話し合う活動を行う。〈(1)サンプル説明書 (2)話し合う活動 (3)全体〉

② 見つけた視点で考え（文章や構成など）を見直す活動を行う。

自分の文章をより分かりやすいものにするために、「組み立てのこつ」（視点）を参考にして、相手に分かってもらえるために必要なつなぎ言葉の働きを考えながら、組立てシートを見直す活動を設定する。〈(1)組立てシート (2)付箋を操作する活動 (3)個人〉

③ 自分の考えを付加・修正したり、再構築したりする活動を行う。

組立てのポイントを視点に、ペアで組立てシートを読み合い、工夫していると感じたところを伝え合うことで、順序を表す言葉を使って書くことのよさを確かめ、組立てを見直す活動を行う。〈(1)組立てシート (2)2人による対話 (3)ペア〉

5 単元の指導計画（総時数13時間）

学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
<p>1 学習課題を設定し、学習計画を立てる。②</p> <p>(1) 生活科の学習を振り返り、学習課題について話し合う。</p> <p><学習課題></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>読むだけでおもちゃが作れるような『おもちゃの作り方説明書』を書こう。</p> </div> <p>(2) 学習計画を立てる。</p> <p>2 教材「しかけカードの作り方」を読み、分かりやすい説明の工夫を見つける。④</p> <p>(1)(2) 教材「しかけカードの作り方」を読み、実際にしかけカードを作る。</p> <p>(3) 教材文を読み、説明のよさを見つける。</p> <p>(4) 前時に貼ったグッドカードをもとに、「分かりやすい説明の工夫」を整理する。</p>	<p>○ 生活科の学習で、1年生をおもちゃランドに招待し、1年生から「つくってみたい!」という声が上がったため、自分なりのおもちゃの作り方を説明した文を読み返し課題に気付かせるようにする。(一次表現)</p> <p>○ 学習課題を設定できるように、「1年生がおもちゃを作ることができるように、もっと分かりやすく書けないかな」という児童の思いを引き出し、課題について話し合う活動を設定する。</p> <p>○ 学習計画を立てることができるように、学習課題をどのように解決していくかを話し合う活動を行う。</p> <p>○ 教材文「しかけカードの作り方」を読んで、実際に「しかけカード」を作る活動を設定する。</p> <p>○ 作る時に、分かりやすかったところ、気を付けて読んだところが意識できるように、それぞれの文章に線をひく活動を行う。</p> <p>○ 前時に線を引いたところをもとに、教材文の分かりやすいところに、よさを書き込む活動を行う。</p> <p>○ 「説明を分かりやすくするひみつ」を見つけることができるように、作る時に分かりやすかった文や言葉、何度も確かめながら読んだところなどについて話し合う活動を設定する。そして、「分かりやすい説明の工夫」として、以下の9点にまとめる。</p>	<p>【関】1年生が読むだけでおもちゃが作れるような分かりやすい説明書を書こうという意欲をもっている。 (発言の様子の観察)</p> <p>【関】学習課題を理解し、学習の見通しをもっている。(発言の様子の観察)</p> <p>【読】手順、順序などについて気付いて読んでいる。(行動観察)</p> <p>【読】教材文を読み、よさを見つけている。 (発言の様子の観察、ワークシート)</p> <p>【読】3点に沿って説明の工夫を読み取っている。(行動観察、記録分析)</p>
<p><分かりやすい説明の工夫></p> <p>①はじめのぶぶん、ざいりょうとどうぐ、作り方、つかい方のじゅんに書く。</p> <p>②何を作るかを書く。③できあがりの絵(しゃしん)を入れる。④何をどれくらいつかうかを書く。</p> <p>⑤じゅんじょをあらわすことばをつかう。⑥絵(しゃしん)と文を合わせて書く。⑦数字をつかう。</p> <p>⑧「すること」「気をつけること」「こつ」を書く。⑨くふうしたつかい方を書く。(→あそび方を書く。)</p>		

<p>3 教材「おもちゃの作り方」を読み、自分の「おもちゃの作り方のせつめい書」をつくる。 ⑥</p> <p>(1) 「けん玉のつくり方」を読んで、前教材でまとめた「分かりやすい説明の工夫」がどこに使われているかを見つける。</p> <p>(2) 取材の仕方について話し合い、説明書に必要な事柄を集める。</p> <p>(3) 取材メモの中から、必要なメモを選んだりまとめたりして組み立てる。</p> <p>(4) 教師のサンプルを活用し、自分の組立てを見直して完成させる。 【本時】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 説明のよさを明確にすることができるように、「分かりやすい説明の工夫」をもとに「けん玉の作り方」を読み、見つけたことをグッドカードに書いて貼る活動を行う。 ○ 学習したことをいつでも振り返ることができるように、見つけた「分かりやすい説明の工夫」をまとめて、掲示する。 ○ 自分の表現に生かすことができるようにするために、「分かりやすい説明の工夫」以外にも、書いてあると分かりやすくなる言葉を教材文から見つけ、「書くと分かりやすくなること」としてまとめる。 ○ 「はじめのぶぶん」「ざいりょうとどうぐ」「あそび方」は、取材の前にあらかじめ書くようにする。 ○ 必要な事柄を集めることができるように、自分が作ったおもちゃを手元に置き、作った時の様子を想起し、メモする活動を行う。 ○ 細かく取材することができるように、長さを測ったり、注意して作った方がよいところを考えたりしながら、分かったことは、短冊カードに書いて取材シートに貼る活動を設定する。 ○ 1年生に分かりやすいという点から、行程は3～4つ程度で簡潔にまとめるとよいことをおさえた上で活動を設定する。 ○ 分かりやすい順序を考えて、組み立てることができるようにするために、教師のサンプルを用いて、メモの組立て方について話し合う活動を設定する。 	<p>【読】 分かりやすい説明の工夫を見つけている。 (ワークシート・発表)</p> <p>【書】 説明したいおもちゃを詳しく見たり、動かしたりしながら書く事柄を集めている。(ワークシート、発言の様子)</p> <p>【書】 集めた事柄の中から必要なメモを選び、内容に応じてまとめたり、接続詞を用いたりしている。 (ワークシート)</p> <p>【書】 順序を表す言葉とメモのまとまりを対応させた分かりやすい順序の組立てとなっている。 (ワークシート)</p>
<p><組み立てのこつ></p> <p>①「作り方」をじゅんじょよくせつめいするために、つなぎことばをつかう。</p> <p>②つなぎことばにあったふせんをえらぶ。</p>		

<p>(5) 組み立てシートに絵を貼り，シートを見直して下書きをする。</p>	<p>○ 自分の組み立てを見ながら，おもちゃの作り方がよく分かるように，順序を表す言葉を使う等，説明の工夫を使って下書きをする。</p>	<p>【書】事柄の順序に沿いながら，語と語や文と文の続き方を考えて，分かりやすく書いている。(ワークシート)</p>
<p>(6) 説明書を清書する。</p>	<p>○ より分かりやすい説明書として清書ができるように，説明の工夫ができているか等，下書きの見直し方について話し合う活動を行う。</p>	<p>【書】自分が書いた文章を読み返し，間違いなどに気付き正しながら，読み手に分かるように，丁寧に清書をしている。(清書の記述の状況)</p>
<p>4 一次表現と二次表現の説明書とを比べ，学習のまとめをする。 ①</p>	<p>○ 表現のよさや自分の学びを実感することができるように，自分で一次表現と二次表現を読み比べたり，友達と二次表現の説明書を読み合い，感想を交流させたりする。友だちと交流をする際は，お互いのよさや頑張り(感想)を書くシートを用意する。</p> <p>○ 次からの学習に生かすことができるように本単元で学習した説明文を書くポイント(説明のこつ)をまとめる活動を行う。後日，お互いの説明書を読みながら，実際におもちゃを作る。そして，分かりやすく伝わったことへの達成感を感じられるようにする。</p>	<p>【関】自分や友達の説明書のよさを実感し，また書きたいという意欲をもっている。 (発言の様子を観察)</p>


6 本時の学習 (第3次 第4時)

於 2年2組教室

(1)主 眼 教師のサンプルを活用した操作活動や、その考えをペアや全体で交流する活動を通して、分かりやすいまとまりや、分かりやすい順序で文章を組み立てることができるようにする。

(2)準 備 教師 拡大ワークシート (不十分なサンプル), 短冊カード
 児童 ワークシート (教師のサンプル), 取材・構成シート

(3)展 開

学 習 活 動	○指導・支援上の留意点 ◆評価規準 ★ 特別な教育的支援を要する児童・生徒への特に困難とされる場面での支援のポイント
<p>1 めあてについて話し合う。</p> <div data-bbox="188 786 347 943" style="display: inline-block; vertical-align: middle;">  </div> <div data-bbox="400 752 703 987" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>前の時間で、メモを組み立てたけど、これでいいのかな。もっと分かりやすくしたいな。</p> </div> <div data-bbox="277 1003 1201 1055" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><めあて> わかりやすくせつめいするために、組み立てをかんせいさせよう。</p> </div>	<p>◎ 前時までに、自分のおもちゃ作りの説明書に必要な事柄を集めたメモを自分なりに組立てている。本時では、1年生にも分かるように組み立てを見直して完成させるというめあてをもつことができるように、自分の組立て表がまだ不十分であることに気付かせ、学習意欲を高めるようにする。</p>
<p>2 教師のサンプルを用いて、分かりやすいまとまりや、順序を表す言葉について考え、自分の組立てを見直す。</p> <p>① 教師のサンプルを用いて、分かりやすいまとまりについて話し合う。</p> <p>② 自分の組立てを見直し、分かりやすいまとまりをつくる。</p>	<p>◎ よりよい表現を吟味することができるように、教師のサンプルを提示し、ペアや全体で分かりやすいまとまりや、それに合う順序を表す言葉について話し合う活動を行う。</p> <p>○ 「このまま下書きをしていいかな?」と問いかけ、まとまりを作る必要があることに気付かせる。そして、教師のサンプルを用いてまとまりを作り、その考えをペアで話し合った上で、全体で考えを出し合い、まとまりをつくることよさに気付かせるようにする。</p> <p>○ 自分の文章をより分かりやすいものにするために、メモを読み直した上でメモを操作し、内容に応じた分かりやすいまとまりをつくるように伝える。</p> <p>★ 特に支援を要する児童には、どのメモとメモをまとまりにすればよいか自分で考えることができるように、メモの内容に着目するように個別に声かけをする。更に、支援を要する児童には、まとまりをつくることができるように教師が助言する。</p>

③ 教師のサンプルを用いて、順序を表す言葉について話し合う。

④ 自分の組立てを見直し、順序を表す言葉を付け加える。

3 本時の学習を振り返り、次時の学習について話し合う。



順序を表す言葉をつかって分かりやすいまとめや順序でメモを組み立てることができました。次は、下書きをしたいです。

○ モデルとなる組立てのサンプルを用い、それぞれのまとまりにふさわしくない順序を表す言葉を提示し、適する順序を表す言葉について全体で話し合うことで、よりよい表現を吟味することができるようにする。

○ 自分の文章をより分かりやすいものにするために、まとまりの順序や内容に応じて、適した順序を表す言葉を記入することを伝える。

★ 特に支援を要するB児には、どのまとまりと順序を表す言葉に対応させればよいか自分で考えることができるように、「しかけカードの作り方」や「けん玉の作り方」で既習の順序を表す言葉を想起するように個別に声かけをする。更に、支援を要するC児には、まとまりに適した順序を表す言葉を選ぶことができるように教師が助言する。

◆【書】 集めた事柄の中から必要な物を選び、順序を表す言葉と対応させた分かりやすい順序の組立てとなっている。 (組立て表の観察)

○ 学習のまとめができるように、今日の学習を終えての感想を発表し、自分や友達の結果を確認する。

○ 次時は、おもちゃの作り方が1年生に伝わるように分かりやすく書けているか、自分の組立てを見直して下書きをすることを確認する。